

## J A バンク新潟における地域密着型金融の取組状況（平成 28 年度）

J A バンク新潟（県下 24 JA と新潟県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、「JA バンク新潟中期戦略（平成 28～30 年度）」に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 28 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 《目 次》

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援	· · · · P 2
2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援	· · · · P 5
3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した 資金供給手法の提供	· · · · P 8
4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等 地域育成への貢献	· · · · P 9

## 1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J A バンク新潟は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

### (1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J A バンク新潟は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 29 年 3 月末時点の J A バンク新潟の農業関係資金残高<sup>(注 1)</sup> は 81,846 百万円（うち農業経営向け貸付金 39,397 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注 2)</sup> 残高は 21,766 百万円を取扱っています。

(注 1) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注 2) J A バンク新潟が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】 (単位：百万円)

	平成 29 年 3 月末現在
農業	39,397
穀作	19,796
野菜・園芸	2,867
果樹・樹園農業	1,051
工芸作物	162
養豚・肉牛・酪農	1,561
養鶏・鶏卵	308
養蚕	-
その他農業	13,647
農業関連団体等	42,449
合 計	81,846

(注)

1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

2 「農業関連団体等」には、J A や全農とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成29年3月末現在
プロパー資金	67,803
農業制度資金	14,043
農業近代化資金	5,243
その他制度資金	8,799
合 計	81,846

(注)

1 「プロパー資金」とは、J A バンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を J A バンク新潟が転貸で融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことで J A バンク新潟が低利で融資するものを対象としています。

3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金（スーパー S 資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

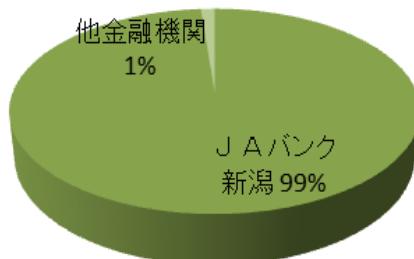
## 【農業資金の受託貸付金残高】 (単位:百万円)

種類	平成29年3月末現在
日本政策金融公庫資金	21,765
その他	0
合計	21,766

(注) JAバンク新潟では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

J Aバンク新潟は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

## 【新潟県の農業近代化資金の取扱いシェア】



(平成 28 年 12 月末時点)

## (2) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク新潟では、地域の農業者との関係強化を目的とした体制整備に取り組んでいます。

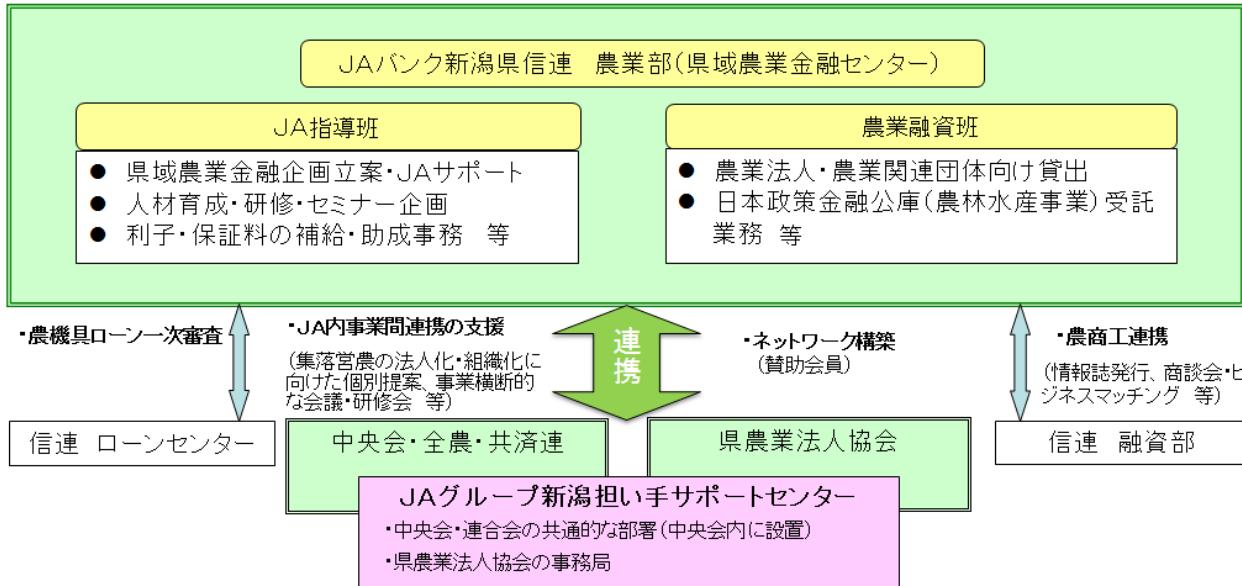
信連では、農業部を「県域農業金融センター」と位置づけ、JAの指導・サポート機能と農業法人等への融資相談機能を併せ持つことで、一元的な取り組みを進めています。JAの体制整備や人材育成を支援するとともに、JAと連携した協調融資などにも取り組んでいます。

県下 24 JA では、担い手への訪問・資金提案活動を中心的に担う「農業融資相談員」をJA本支店(所)に 180 名配置し、また、農業融資の実務を統括する「担い手金融リーダー」を 40 名配置しています。

農業融資相談員等の相談対応力向上を目的に、JAバンク独自の農業融資資格制度である「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を進めており、県下合計で 394 名が取得しています。また、日本政策金融公庫が実施主体となる「農業経営アドバイザー研修・試験」にも取り組み、県下合計で 34 名が合格しています。

また、JAが総合力を発揮し農業者の多様なニーズに応えていくため、信連を含めた中央会・連合会の共通的な部署である「JAグループ新潟担い手支援室(略称:担い手サポートセンター)」が中心となり、集落営農の法人化・組織化に向けた個別提案や、事業横断的な会議・研修会の開催等を通じ、JA内事業間連携の強化を支援しています。

### 扱い手支援にかかる体制図



### (3) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客さま満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

## 2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J A バンク新潟は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) にいがた農業応援ファンドによる助成

J A バンク新潟では、J A自己改革で掲げる3つの基本目標（農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化）を具体的に実現していくため、平成28年度から平成30年度の3年間における担い手への支援パッケージとして「にいがた農業応援プログラム」を開展しています。

その中の施策の一つである「にいがた農業応援ファンド」では、直面する課題の克服にチャレンジする担い手（個人・法人を問わない）のあと一歩を応援するため、農業生産の拡大、農産物の加工・流通・販売の促進および農業を通じた、地域活性化に必要な資金の一部を助成しています。



「農機具等の取得応援事業を活用して導入した農機具」

#### 【にいがた農業応援ファンド取扱実績】

(単位：件、百万円)

事 業 名	平成28年度			
	申請数	申請額	採択数	採択額
農機具等の取得応援事業	135	85	134	85
加工・流通・販売の促進応援事業	43	32	34	24
「J A グループ新潟 営農・経済改革プラン」推進事業	132	86	109	69
親元就農応援事業	33	9	22	6
合 計	343	214	299	185

### (2) 次世代農業者の育成支援

J A バンク新潟では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、「青年等就農資金」および「新潟県新規参入者経営安定資金」を取り扱っているほか、独立新規就農者や研修受入先を対象とした「J A バンク新規就農応援事業」や、にいがた農業応援ファンドによる助成事業として「親元就農応援事業」を開展しています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

(単位：件、百万円)

資金名	平成28年度		平成29年3月末 残高
	実行件数	実行金額	
青年等就農資金	14	92	151
就農支援資金	—	—	50
新潟県新規参入者経営安定資金	1	1	21
合 計	15	93	222

(注) 平成26年4月1日付の法改正により、就農支援資金の新規取扱いは終了となり、新たに青年等就農資金が創設されました。

#### 【J A バンク新規就農応援事業取扱実績】 (単位：件、百万円)

事業名	平成28年度	
	助成件数	助成金額
新規就農者営農支援事業	56	11
新規就農研修支援事業	18	5
合 計	74	16

### (3) 6次産業化・農商工連携の推進

#### 【商談会】

ビジネスマッチングを通じた6次産業化の推進および農商工連携により、県内農畜産物の販路拡大を支援するため、各地域で開催される商談会へ参加しました。



〈平成28年度 商談会開催状況〉

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容(成約状況等)
うまさぎっしり新潟 食の大商談会	平成28年9月9日	NICO・新潟県 新潟県内金融 機関ほか	107社	1,082名	2JAおよび10取引先の出展支援
JA・JFグループ 北信越商談会	平成29年1月26日	JAバンク JFマリンバンク	27団体 (セラー)	42団体 (バイヤー)	セラー5団体、バイヤー4団体を招致

#### 【Sole!にいがた】

農商工連携を促進する一環として、フリーペーパー形式の情報誌「S o l e (そーれ) !にいがた」を平成22年7月に創刊、年4回発行しています。

この情報誌では、県内の農業や産業に関する幅広い情報の提供により、「農と食」を基軸としたコミュニケーションを通して、農業生産者・JAグループと地域の企業、さらには広く地域の皆さまとの結び付きを強め、新たなビジネスチャンスを創出するきっかけづくりを目指しています。  
※県内のJA窓口や直売所、道の駅、スーパー等で無料配布

しています。



### (4) 生産者と消費者をつなげる場の設定

J Aバンク新潟は、新潟県生活協同組合連合会、新潟県森林組合連合会、新潟県漁業協同組合連合会、新潟漁業協同組合、新潟県酪農業協同組合連合会、JA新潟中央会、JA全農にいがた、JA共済連新潟との共催により、「第18回協同組合まつり」(平成28年10月23日、新潟市産業振興センター)を開催し、7,975名の方にご来場いただきました。

会場では県内農畜産物等の紹介・直売や県内農産物を材料とした食事の提供、チャリティーオークション、ステージイベント等を実施し、好評を博しました。



## (5) 講演会・セミナー等の開催

J Aバンク新潟では、農業法人等の経営力向上支援や参加者同士の情報交換、ネットワークづくりの場を提供することなどを目的として、セミナーや個別相談会を開催しています。また、融資のお取引先等を招いた講演会を開催し、異業種間の交流を促進しています。

### 【平成28年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
第10回農業法人経営者セミナー	平成29年2月10日	信連	県下農業法人 JA等	239名	第1部「農業法人経営におけるマーケティング戦略」 ～販路拡大に向けたマーケティングの考え方～ 第2部「中京地区における米の販売戦略の現状と今後の取組みについて」
販売力強化に向けた個別相談会	平成29年3月10日	信連	県下農業法人 JA等	8名	講師との個別相談を通じた、商品の販売戦略の見直し、直売所の売上伸長策検討、商談会の成功に向けたFCPシート(商品紹介資料)のブラッシュアップ等
第29回信連融和会定例総会講演会	平成28年7月13日	信連	信連融資 取引先	78社	講師:東京新聞・中日新聞論説副主幹 ジャーナリスト 長谷川 幸洋 演題:「激動する世界へ日本の針路を考える～」
平成28年度経済・金融セミナー	平成28年11月14日	信連	信連融資 取引先	60社	講師:パークレイズ証券㈱マネージング・ディレクター チーフ・エコノミスト 森田 京平 演題:「日本経済展望 岐路に立つアベノミクス」

## (6) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク新潟では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

### 【平成28年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位:先)

		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再生 計画を策定し た先数 a	Aのうち期末 に債務者区分 がランクアッ プした先数 b	Aのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数 c	再生計画策定 率 = a / A	ランクアップ 率 = b / A
正常先①		12	10		10	83.3%	
要 注 意 先	うちその他要注意先②	59	28	10	48	47.5%	16.9%
	うち要管理先③	5	1	2	2	20.0%	40.0%
破綻懸念先④		40	20	2	29	50.0%	5.0%
実質破綻先⑤		41	18	2	37	43.9%	4.9%
破綻先⑥		2	1	1	0	50.0%	50.0%
小計(②～⑥の計)		147	68	17	116	46.3%	11.6%
合計		159	78	17	126	49.1%	10.7%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成29年3月末時点のものです。

### 3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

J A銀行新潟では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) アグリビジネス投資育成株式会社等によるファンドの活用

J A銀行新潟では、お客さまの資金調達手段の一つとして、農業法人育成のための資本供与の仕組みである「アグリシードファンド」や「担い手経営体応援ファンド」による出資を提案しています。

平成28年度には、県内農業法人の資本調達ニーズに対応するため、「アグリシードファンド」で1件、8百万円の出資を実施し、農業法人向けファンドの取組実績は累計8件、81百万円となりました。

##### 【平成29年3月末農業者向けファンド取扱実績】

(単位：件、百万円)

ファンド名	取扱実績	
	件数	出資額
アグリシードファンド	6	31
担い手経営体応援ファンド	2	50
合 計	8	81

#### (2) 負債整理資金による経営支援

J A銀行新潟では、農業者の経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

##### 【平成28年度 負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	平成28年度 実行件数	平成28年度 実行金額	平成29年3月末 残高
農家経済再建資金	8	85	1,760
畜産特別資金	0	0	36
土地改良負担金対策資金	4	90	723
農業経営負担軽減支援資金	0	0	70
農家負担軽減支援特別資金	0	0	4
合計	12	175	2,595

(注) 負債整理資金とは、既往負債の償還が困難な農業者に対する借換え資金です。

そのうち、農家経済再建資金はプロパー資金としてJAで取り扱っており、他の資金は制度資金としてJAや各融資機関で取り扱っています。

## 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク新潟では、地域と農業者の結び付きを強化し、地域を活性化するため、また地域への社会貢献のため、次の取組みを行っています。

### (1) にいがた農業応援定期貯金「ほほ笑味」の取扱い

県下 24 J Aでは、個人の方向けに、新潟県内に 69 か所ある J A直売所や Aコープ等で利用できるクーポン券を特典とした「にいがた農業応援定期貯金(ほほ笑味)」を販売しました。(取扱期間：平成 28 年 6 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日)

クーポン券を使って、新潟県の豊かな大地で育った農作物を購入いただき、そのおいしさを実感していただくことで、J A利用者の満足度をより一層高めるとともに、県産農畜産物の消費拡大、新潟県農業のさらなる発展に貢献すべく取り組みました。

### (2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク新潟では、将来を担う子供たちの農業や自然環境、金融経済に対する理解を促進することを目的とした「新潟県 J Aバンク食農教育応援事業」を展開しています。

主な取組みとして、J A等による子どもを対象とした食農教育活動等への助成事業や、補助教材「農業とわたしたちのくらし」(小学校高学年向け、特別支援学校生向け)などの無償配布を実施しています。小学校高学年向け補助教材は県下の小学校 480 校へ 21,680 部、特別支援学校生向け補助教材は県下の小学校・特別支援学校 20 校へ 186 部を贈呈し、各学校において授業等に活用されています。

また、県下 J Aでは、下表のような食農教育などの様々な実践活動に取り組んでいます。

#### 【新潟県 J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	活動内容
J A新潟市	農業体験作文コンクール	小・中学生・特別支援学校生に対し農業体験学習「学校教育田」の実体験に基づいた作文コンクールを実施。
J Aかみはやし	親子でおにぎり	幼児・小学生・中学生親子による地元で採れた新米でのおにぎり作りイベントを実施。
J Aにいがた岩船	小学校学校田	小学生を対象に農業の理解を深めるため、地元農業者の指導のもと田植え・稲刈り体験を実施。
	中学校料理教室	郷土料理への理解を深めてもらうため、中学校で生徒が栽培・収穫したもち米の料理教室講習を実施。
J A北越後	田植え体験	園児・小学生親子を対象に田植え体験を実施。
J A胎内市	親子田植え稲刈り体験学習	園児・小学生親子を対象に農業体験（田植え・稲刈り）学習を実施。
J A新潟みらい	あぐりスクール	小学生を対象に、地産地消など食の大切さを学習する目的で、年 5 回にわたり農業体験、収穫体験、調理実習などで農業に関する総合的な体験学習を実施。
	食農食育出前授業	小学生を対象に、食農教育の授業を行い、地場産食材にこだわった調理実習を実施。

J A名	活動名	活動内容
JA新潟みらい	文化祭食育体験コーナー	小学生親子を対象に、米の消費拡大、農業への理解を深めてもらうため、文化祭体験コーナーで米粉ピザ作り教室を実施。
	食農食育に関する図書贈呈	小学校へ毎月「ちゃぐりん」を贈呈。
JA新津さつき	昔ながらのお米づくり体験	新潟市有形民俗文化財「満願寺はさ木並木」を使い、手植えで行う稲作体験を実施。
JA越後中央	農業体験学習	小学生を対象に、農業体験学習として田植え・稻刈り・さつまいも収穫体験を実施。
	農業施設見学と野菜収穫体験	小学生親子を対象に、JA農業施設の見学後、旬の野菜の収穫体験を実施。
JA佐渡	バケツ稻作り体験	園児・小学生を対象にバケツでの稻作り体験を実施。
	野菜作り体験	小学生による野菜作り体験を実施。
JAにいがた南蒲	小中学校出前授業および合格祈願米の贈呈	小中学校で出前授業を実施。中学3年生に対しては、受験に向けて「難関（南蒲）突破米」を贈呈。
	下田支店協同活動	園児・小学生親子を対象に、夏野菜のプランター栽培・収穫物調理体験を実施。
JA越後ながおか	食農食育に関する図書贈呈	小学校へ毎月「ちゃぐりん」を贈呈。
	さつまいも体験農園	小学生以下の親子を対象に、土に触れる楽しさを理解してもらうため、さつまいもの定植、収穫を実施。
JA越後さんとう	サマースクール	小学生を対象に、地場産農産物の収穫体験と地場野菜を使った調理実習を実施。
JA越後おぢや	農業体験学習出前授業	小中学校で、学校田を利用した苗の移植等の農業体験を実施。
JA北魚沼	あぐり～んキッズスクール	園児・小学生親子を対象に田植え体験、調理実習、さつまいも収穫体験などを実施。
	食農教育图画コンクール	小学校を対象に、「地元のお米・野菜・ぼく・わたし」をテーマに图画コンクールを実施。
JAしおざわ	あぐりスクール	小学生を対象に、野菜に触れる楽しさを体験し、収穫した野菜を調理して食べることで、食と農の大切さを学んでもらう体験教室を実施。
	こども料理教室	小学生を対象に、簡単でおいしい料理を紹介するため、地場産食材を使った料理教室を実施。
JA魚沼みなみ	グリーンスクール	小学生を対象に、環境・食料・農業への理解を深めることを目的に、農作業体験や調理実習などを実施。
JA十日町	どろんこキッズスクール	小学生を対象に、農業・調理体験スクールを実施。
	料理教室	園児・小中学生親子を対象に、地元農畜産物を使った料理教室を実施。
JA津南町	どろんこ学習	小中学校が行っている食農教育活動(花卉・野菜栽培学習、学校田)に対してJAが指導、活動費助成を実施。
JAえちご上越	ちゃぐりん道場	小学生を対象に、農業体験、料理教室等を実施。

J A名	活動名	活動内容
JAひすい	そば種蒔き・そば打ち体験	小学生を対象に、食と農の大切さを知ってもらうため、そばの種蒔きと収穫したそば粉を使ってそば打ち体験を実施。
	大豆栽培と豆腐作り体験	園児・小学生を対象に、食と農の大切さを知ってもらうため大豆を栽培し、その大豆で豆腐作りを実施。
	稻作農業体験	園児・小学生を対象に、食と農の大切さを知ってもらうため、田植え、稻刈り体験を実施。
JA新潟中央会	第41回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール	次代を担う子供たちに農業の多面的機能とごはん食の重要性等について理解を深めてもらうため、作文と図画コンクールを実施。



「食農教育活動の様子」

### (3) その他の地域貢献活動

J Aバンク新潟では、地域社会の一員として、文化、スポーツ、社会福祉、環境などの分野で幅広い地域貢献活動を展開しています。

- 「エコ定期貯金」の受入を通じた、環境保全団体への寄付金の贈呈

平成23年度より農業の振興を通じた「環境保全」の推進の一環として実施している「エコ定期貯金」は、環境意識が高まるなか、貯金の受入を通じてお客様の間接的な環境保護への参加を支援することで、郷土の自然環境保護に貢献することを目的としています。

多くの皆さまから趣旨にご賛同いただいた結果、平成28年度は788,623円を公益社団法人「にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」に寄付することができました。

- 公益信託「JAバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金」新潟県内の社会福祉法人やボランティア団体等を助成対象者とし、ホームヘルパーの活動および当該活動を支援する設備等に対し助成を行っています。

- エコキヤップ運動への参加

ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加しています。

## ○ 環境保全への取組み

ビル内のLED照明や業務車両へのエコカー導入、「クールビズ」や「ノー残業デー」の実施など、環境保全を意識した取り組みを積極的に行ってています。

また、地球温暖化防止や、地域の森林整備等の促進、豊かな自然環境の保全を支援することを目的にカーボン・オフセットにも取り組み、平成28年度は「にいがた農業応援定期貯金（ほほ笑味）」のクーポン券に、調理時に排出する一食分のCO<sub>2</sub>吸収量を付与することでカーボン・オフセットを実施しました。

※カーボン・オフセットとは暮らしの中で出てしまうCO<sub>2</sub>を森林整備等CO<sub>2</sub>吸収活動の支援により埋め合わせることです。

## ○ 「スポーツ教室・食育教室」への特別協賛

「スポーツを通じた青少年の健全育成」の趣旨に賛同し、アルビレックス新潟（サッカー）および新潟アルビレックスBB（バスケットボール）が開催する「スポーツ教室」への特別協賛を行っています。新潟アルビレックスBBが主催する教室では、食育教室も併せて開催しています。



「新潟アルビレックスBBの選手によるバスケットボール教室・食育教室の様子」

## ○ 「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛

地域の文化振興を応援するため、公益財団法人新潟市文化振興財団が主催する「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛を行っています。

なお、公演には日本の伝統文化に触れる機会を提供することを目的に、新潟県内の留学生ならびに高校生を招待しており、平成28年度は88名の方からご鑑賞いただきました。

## ○ 役職員によるボランティア活動への参加

新潟市が主催する地域清掃活動に毎年参加しています。

また、新潟県赤十字血液センターのご協力により、団体献血を年2回実施しています。



## ○ 地域行事への参加

「新潟まつり大民謡流し」等の地域行事に地域の一員として積極的に参加し、地域の皆様との交流を大切にしています。

以 上